



日中食療薬膳シンポジウム1週間の旅に同行して

中部校 蜂谷 海英子

アット言う間の楽しい時間は過ぎ去りました。中国数千年の歴史の上において中医薬、薬膳と云うものが出来上がり、その奥の深いものの一部に五感で触れる事が出来た気がします。

前半は薬膳関係の行事で一般では中に入ることの出来ない奥の方まで見学させていただき、昼はその大学の食堂で薬膳食を頂き、昼、夜、昼、夜、と薬膳を口に、回族の精進料理も味わい、"ところ変われば品変わる"でいろんな物を味わう事が出来ました。肌はツルツルで蚊がさずべる？ほど体調は良好で後半も楽しみました。



後半は中国の深い歴史の探訪でよく歩き足が痛く、普段いかに運動不足であるか反省をしました。中国は本当に広い・・・広すぎる！

寒山寺へ行けた事がすごく感激です。唐時代の"寒山拾得"という2人の奇僧の詩等が有名でルーツに出会え、同じ空気を吸えた事に感激です。

周荘の歴史、そして又静岡県館山寺にも深い縁があるとかで二度ピツクリ、日本はまだ浅いです。水郷の町、周荘の周りの風景と時間がゆったりと豊かに流れ、静かに時を重ねているその空気の流れの中に、何千年と魂が生きている気がしました。もう一度ゆっくりその魂に浸りたい思いを残して帰って来ました。

今回の旅は私にとって有意義で縁のあった旅のような気がします。中国のエネルギーを沢山頂いて帰り、毎日元気で動き回っています。関係者の皆様お疲れ様でした。いろいろお世話頂き本当に有り難うございました。感謝

学生募集

新しい講座の紹介

研究1科は 12/2 からスタート、第1木曜日 14:00 からです。
中国語は 10/21 からスタート、第1、3木曜日 17:00 から。
国際中医師講座開講予定

国際交流



韓国霊山大学車塚政先生



韓国梁山大学崔味愛先生と
韓国薬膳研究会会長崔晚洵先生



新しい東京教室



彩色図解中薬学:
日本語名、索引つき
269頁: ¥3,800



家庭でつくれる薬膳
難波恒雄教授著
225頁: ¥2,000

食材・中薬のご提供について

中薬を少量でも購入できるよう、50g から販売いたします。(一覧表は教室に)
¥5,000円以上は送料無料となります。

国際茶藝会スタート

第1水曜日: 10:30 から
第1土曜日: 13:30 から



日本国際薬膳師会発足

皆様の今後の活動拠点として国際薬膳師会を発足致しました。本会は、日本国内の国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師の資格を有する者によって構成されております。来る11月23日(祝)午後1時より学士会館において日本薬膳師会設立記念大会を執り行います。会員の皆様、ぜひご参加下さい。

講師紹介

1. 中医学 11月から中医薬膳師3期の中医学の講師は 焦芸苹(しょうげいへい)先生(女)

焦先生は北京中医薬大学卒業後、中国協和医科大学の講師を勤め、また、附属医院の中医科の主治医師を経て来日。

来日後、鍼灸専門学校にて鍼灸師の資格を取得、現在、鍼灸の治療院を経営しています。

焦先生は中国だけではなく、日本でも高名な老中医の焦樹徳先生を父親に持ち、中医学の真髄をしっかりと身につけていますので、本格的な中医学の勉強ができます。

2. やさしい中国語

林恵玉(りんけいぎょく)先生(女)

林先生は黒龍江省牡丹江師範学院を卒業後、大連理工大学人文学院大学院に入り、教育修士の学位を取得後、2000年来日。

教育に大変熱心で、中国語の発音も非常にきれいです。